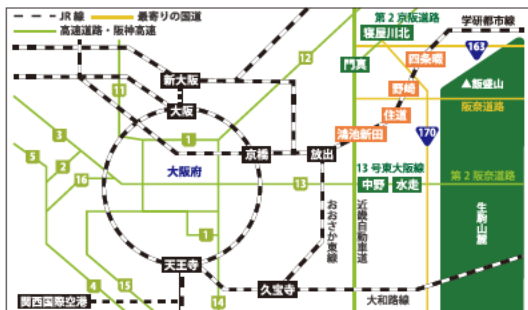


■大東市へのアクセス



■自動車利用の場合
- 大阪市方面から→阪神高速13号東大阪線中野・水走出り出口国道170号を北へ
- 京 都方面から→第2京阪道路門真ICを出て阪奈道路へ
- 奈 良方面から→阪奈道路・国道163号を西へ
■公共交通機関ご利用の場合
・JR 学研都市線 鴻池新田駅、住道駅、野崎駅、四条駅下車

■大東市の主なイベント「イベント名」最寄り駅

- 3月 「三好長慶公武者行列 in 大東」野崎駅 5月1日〜8日 「野崎まいり」野崎駅
5月4日 「野崎プロレス」野崎駅 9月 「大東市民まつり」住道駅
10月 「だんじりまつり」住道駅、野崎駅
12月 「大東市スマイルミネーション」住道駅
3月〜11月最終水曜日 「ズンチャッチャ夜市」住道駅

■大東市観光ボランティアガイド「やまびこ」

大東市観光ボランティアガイド「やまびこ」は一般的な「観光」という枠にとらわれず、歴史・文化・自然・産業・生活などの資源を活用し、地域活性化を目指し、活動しています。ガイドのお申込みはHPから利用申込書に記入をお願いします。



■観光に関する問い合わせ

大東市 産業・文化部 観光振興課 http://www.city.daito.lg.jp/
電話番号 072-870-0442 (平日9〜17時) ファクス 072-870-0907
〒574-8555 大阪府大東市谷川一丁目1番1号 市役所厚生棟1階

■ご意見・ご感想を募集しています

大東市観光ボランティアガイド「やまびこ」では市民の皆さんの意見を取り入れこのMAPをより良い物にしていきたいと考えています。お勧めスポットの追加や誤植への指摘などお気づきの点がございましたらご連絡お願いいたします。

発行・編集：大東市観光ボランティアガイド「やまびこ」(事務局：大東市観光振興課)
デザイン：NPO法人 環境デザイン・エキスパートネットワーク
監修・協力：大東市 産業・文化部 生涯学習課

初版 2020年1月 (大東市産業公衆関係課)
第3次改訂版 2023年4月発行

やまびこが選ぶ
大東の七不思議

①龍 間：龍眼寺はおとぎの国 ②

龍伝説の郷に突如現れた巨大な弘法大師！
門前では「日本昔話」のヒーロー達に会えます。



③三住町：石畳とライオン像 ⑤

石造りの豪邸の路地を入ると異国の風景！
行って見たくなる。ちょっと寄り道。



④寺 川：人面石にギョギョギョ ④

江戸の茶人かピラミッドからの逃走者！
キリッとした顔立ちは、貴方のご先祖様か。



⑥御供田：鐘紡の忘れ物 ③

糸をよじる時計台のモニュメント。
さすがですね！元は鐘ヶ淵紡績会社の名残です。



⑤住道駅：登り口は、よにも不思議 ①

大東市の玄関口住道駅の登り口！
なんと！42(よに)ヶ所もあるのです。
試してみね。



⑥野 崎：南條神社鳥居の扁額 ④

扁額の周りは6個のハートマーク！
最も古い日本の伝統文様「蓮の目」は災いを
除き福を招く意が込められています。



⑦深野北：深北緑地公園のいたずら ⑤

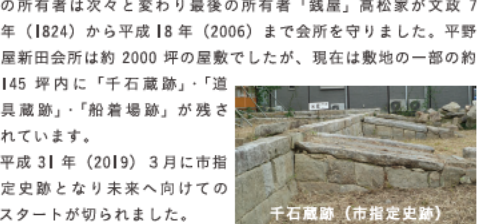
辺り一面に地下からニョキ、ニョキ！
50mにも達するマヌギ(別名ラクウショウ)
は気根で生きています。



たいてう コラム

■大東の礎「平野屋新田会所物語」

市内を歩いていると地名やバス停等に深野・平野屋・会所橋・といった江戸時代に開発された新田の名前を見ることが出来ます。市内平野部の大半が新田にあたり、大東市の礎となりました。江戸時代宝永元年(1704)に大和川の付替えにより深野池は新田に生まれ変わります。新田開発は当初東本願寺の門徒衆が普請に関わりましたが、財政困難になり大阪商人の手に渡り、新田の管理と運営の為に「会所」が設けられました。以後、会所の所有者は次々と変わり最後の所有者「銭屋」高松家が文政7年(1824)から平成18年(2006)まで会所を守りました。平野屋新田会所は約2000坪の屋敷でしたが、現在は敷地の一部の約145坪内に「千石蔵跡」・「道具蔵跡」・「船着場跡」が残されています。



千石蔵跡(市指定史跡)

■河内政権につながる
堂山古墳群史跡広場

百舌鳥古墳群と同時代に造られた8基からなる古墳群。5世紀前半の1号墳は、直径2.5mの円墳で短甲・冑・刀剣(大阪府指定文化財)など多数の鉄製品などが出土し、被葬者は当地域を治めた有力者と思われる。また2〜8号墳は6〜7世紀にかけての古墳です。(市指定史跡)



市指定史跡



大阪府指定文化財

■大東の段蔵



洪水に備える為に階段状の石垣の上に建てられた土蔵で、大切なものを守る目的で市内の各集落に多く建てられました。どっしりとしたその姿は、地域一つの景観美となっています。

〜歴史を感じる大東の名所〜
だいてう祈りの道

1 大峰講(十三詣り)

関西では、昔から男児は13歳で「大峰詣り」の風習が続いており、大東市内には「光明組」が今も子供達に大峰山「西の谷」の覗き体験させています。



- ・「大峰堂」…赤井・新田・灰塚 ①
・「不動堂」……………諸福 ①
・「不動尊」……龍間・野崎 ② ⑥
・「役行者像」……龍間 ② 中垣内 ③
野崎 ④ 北条 ⑥



2 おかげ灯籠

江戸時代、市内各所で「伊勢講」・「連中」・「若中」が結成され、お伊勢参り・おかげ参りを祈念して造られた8基のおかげ灯籠が残っています。

- ・諸 福：諸福天満宮の古堤街道路傍… ①
・御 領：龍(おかみ)神社境内… ⑤
・灰 塚：灰塚3丁目路傍… ①
・三 住 町：本伝寺境内… ⑤
・柴 和 町：善念寺の河内街道路傍… ③
・寺 川：大谷神社境内… ④
・中 垣 内：須波麻神社前… ③
・龍 間：龍間神社境内… ②



マップ内表記と対応するコースで実際に遊べます

〜昔むかし在るところに〜
だいてう伝説

2 さかれた龍(龍伝説)

およそ千二百年前、この地域が大干ばつで苦しんだという。何日間も一滴の雨さえ降らなかった。作物は枯れ村人たちが困り果てていたとき、通りがかった行基の雨乞いにより、天に住む若い龍が雨を降らせ村人たちを救ったそう。ところが、八大龍王の掟に背いた若い龍は、身を三つに裂かれてしまいました。龍の落ちた所に祀られたのが、龍頭寺(後の龍光寺)・龍腹寺(後の龍間寺)・龍尾寺です。地域の竜間という地名も龍伝説が由来であると言伝えられています。



4 メノコ橋と弘法大師伝説

弘法大師が野崎の地で修行をしていた頃のお話です。10日間程の修行中、僧は夜になると来る日も来る日も「一夜の宿」を乞うが、村人は誰も泊めようとしなかった。僧は仕方なく橋の欄干を枕にして寝床にしたそう。その橋が「メノコ橋」と呼ばれるようになり、いつしか「メノコ橋」に転じて語り継がれています。



6 トメヤんとタカカカ坊主

野崎新池に住む化けるのが苦手なタヌキ「トメヤん」は、近くの田畑を連日荒らし廻っていました。同じころ、専断寺の辺りに住む化けるのが上手な「タカカカ坊主」は、悪さはせず愛情があり、村の人達に可愛がられていました。ある日、「トメヤん」は、とうとう村人に捕らわれ「お前なん、そないに悪さばかりするんや！」と問い詰められました。トメヤんは「わいの事を邪魔者扱いしてちょっとも可愛がってくれへんやんか！腹が減って腹が減って！」と涙目で話しました。これ聞いた村人は「トメヤん」の願いを聞いてやり「正一位高吉大明神」と碑を建てて祀りました。



参考文献：大東の伝承文化



じゅっど
大東
観光MAP



第3次改訂版
やまびこ